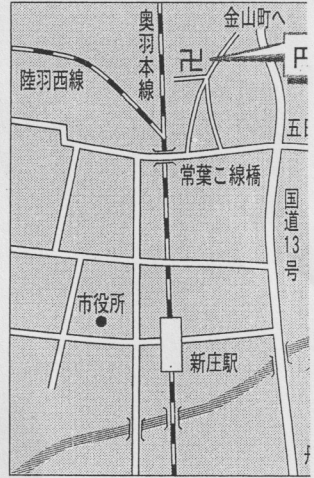


社寺漫歩

54

こすぎさんえんまんじ 小杉山円満寺



新庄城。その鬼門封じとして、城の北東に創建されたのが新庄市五日町の円満寺だ。

小雨が降る午後、副住職の山尾順紀さん(画)を訪問した。円満寺はもともと、秋田県仙北郡内にあり、角館に移ったという。そこで平城の築城着手に合わせて開

新庄藩初代藩主の戸沢政盛は、角館から常陸国(今の茨城県)松岡の大名を経て、新庄に入部した。円満寺は政盛とともに、それの土地に建立された。新張り付いた状態で焼け残っていたという。「自身で池に入られたのだ」「いや、タニシが連れ出して守った」と当時の人の話題に

火災をくぐり抜け一層の迫力が感じられる不動明王

わらぶき屋根の雷神堂(手前)と淡島山虚空蔵堂



わらぶき屋根の雷神堂は「うが」と話した。夏休みには自転車で行くこともあるという。歴史の長い寺の優しさが感じられた。

(色)